

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
単元株式数	1,000株
剰余金配当基準日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
証 券 コ ー ド	3105
公 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nisshinbo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株 式 に 関 す る 住 所 変 更 等 の ご 照 会 お よ び お 届 出 に つ い て	株式に関する手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会および届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、いずれかの窓口にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されている株主様】 ……当該証券会社にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されていない株主様】 ……三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)にご連絡ください。 TEL 0120-244-479 (通話料無料:24時間受付) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

日清紡ホールディングス株式会社

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
TEL : 03-5695-8833(代) FAX : 03-5695-8970
<http://www.nisshinbo.co.jp/>



第169期 [中間期] 株主通信

2011年4月1日～2011年9月30日

日清紡ホールディングス株式会社
(証券コード3105)

株主の皆様へ

グローバル戦略を加速させ 新たな価値の創造を

株主の皆様には、日頃より日清紡グループへの深いご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年3月に発生した東日本大震災は、日本の産業構造、サプライチェーンの連鎖の脆弱さを露呈する一方で、日本のものづくりの強さを実感させる契機となりました。

私たち日清紡グループは、昨年の日本無線(株)および長野日本無線(株)の子会社化に続き、本年9月には欧州のブレーキ摩擦材メーカーであるTMD Friction Group S.A.の買収を決定しました。日清紡グループの経営は、「環境・エネルギー」「グローバル」に向けて、また一歩大きく動き出します。今後も、自立する企業グループとして、成長するアジアの経済圏を取り込むことにより、ゴーイングコンサーンとしての成長戦略を描いてまいります。

引き続き、日清紡グループへの一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

鷲崎 静

(うざわ しずか)

当第2四半期連結累計期間(中間期)業績について

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、欧州の債務問題が深刻化し、中国やインド等の新興国の経済成長も鈍化する中、東日本大震災の影響に加え、急激な円高の進行やタイ洪水の影響長期化懸念などから、景気の先行きは不透明度を増しつつあります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、日本無線(株)や長野日本無線(株)を連結子会社に加えたことで売上高を増加させましたが、前年同期に計上した大型の不動産分譲が当期はなかったこと、第4四半期に売上の50%程度が集中する事業特性を持つ日本無線(株)が当第2四半期連結累計期間では営業損失を計上していること、抜本的な事業構造改革を発表した新日本無線(株)の業績不振などから、前年同期比で増収ながら減益となりました。

[連結業績]

- 売上高 172,239百万円(前年同期比28.2%増)
- 営業利益 377百万円(前年同期比95.0%減)
- 経常利益 1,979百万円(前年同期比79.0%減)
- 四半期純利益 2,676百万円(前年同期比31.0%減)

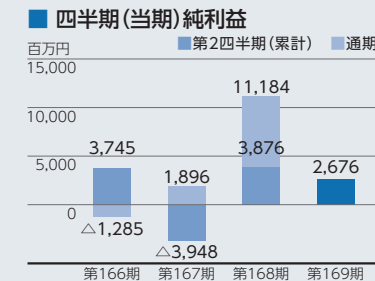
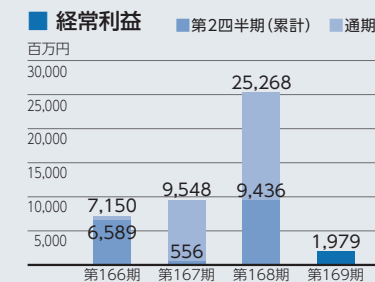
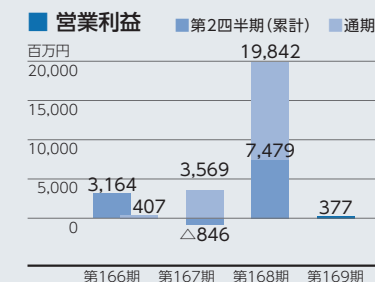
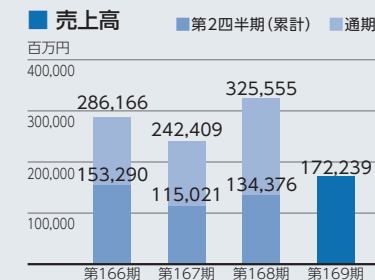
業績目標達成に向けて

日清紡グループは、2018年3月期(2017年度)にROE9%超、売上高6,000億円超を目指しています。

この目標を達成するためには、既存ビジネスや新規事業を育成・強化することに加え、積極的なM&Aが不可欠です。

日清紡グループは、本年度のスローガンを「グローバル戦略の深耕」と定め、本年9月、世界有数のブレーキ摩擦材メーカーであるTMD Friction Group S.A.の買収を決定しました。この買収により、日清紡グループのブレーキ事業は、自動車ブレーキ用摩擦材市場で世界NO.1のシェア(15%超~自社調べ)を有することになります。グローバルリーダーシップや技術の相互補完、コストシナジーの追及などの強みを生かし、ブレーキ事業の更なる飛躍を図ります。

さらに、日清紡グループは、「環境カンパニー」として環境・エネルギー分野での新規ビジネスを事業化することにより、新たな価値の創造に挑戦を続けます。



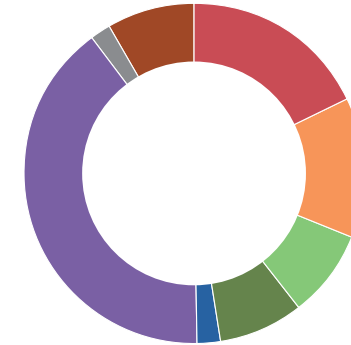
日清紡グループの事業概要

日清紡ホールディングス(株)

	繊維事業 日清紡テキスタイル(株)	シャツ(「アポロコット」、ドレスシャツ、カジュアルシャツ、生地) テキスタイル(ユニホーム地、寝装品、カジュアル地) デニム(ジーンズ地)、ニット(ニット製品、生地) 不織布(「オイコス」) ポリウレタン弾性繊維(「モビロン」)
	ブレーキ事業 日清紡ブレーキ(株)	摩擦材(ブレーキライニング、ディスクパッド) アセンブリ製品(ドラムブレーキ製品)
	紙製品事業 日清紡ペーパー プロダクツ(株)	家庭紙(ティシュペーパー、トイレットペーパー、キッチンタオル) 洋紙(ファインペーパー、合成紙) 紙加工品(電報製品、高級パッケージ、広告関連製品、カード・ラベル製品)
	精密機器事業 日清紡メカトロニクス(株)	太陽電池製造装置(モジュールラミネータ、ソーラシミュレータ、EL検査装置、端面剥離装置) 専用工作機(航空機向け専用機、自動車向け専用機、特殊プレス) 精密部品加工 プラスチック成形品
	化学品事業 日清紡ケミカル(株)	硬質ウレタンフォーム(「エアライトフォーム」) ウレタンエラストマー(「モビロン」) カーボン製品 機能化学品(「カルボジライト」) 燃料電池セパレーター
	エレクトロニクス事業 日本無線(株)	海上機器(海軍衛星通信装置、船舶通信装置、船舶用レーダー) 通信機器(GPS受信機、PHS端末機器、防災機器) 半導体製品(半導体集積回路、光半導体デバイス) 電源・エネルギー機器(パソコン用電源アダプタ、産業機器用電源)
	不動産事業	

当第2四半期連結累計期間

事業別売上高比率



■ 繊維事業	17.9%	■ 化学品事業	2.3%
■ ブレーキ事業	13.4%	■ エレクトロニクス事業	40.1%
■ 紙製品事業	8.3%	■ 不動産事業	2.0%
■ 精密機器事業	7.9%	■ その他事業	8.1%

繊維事業



売上高
30,783百万円
(前年同期比6.6%増)

営業利益
754百万円
(前年同期比912百万円の改善)

綿100%ノーアイロンシャツ「アポロコット」や節電対応の半袖シャツの販売増、インドネシアでの海外事業の好調などが、利益増に寄与しました。

ブレーキ事業



売上高
23,028百万円
(前年同期比1.5%減)

営業利益
2,112百万円
(前年同期比26.6%減)

東日本大震災によるカーメーカーの操業停止などの影響を受けて、利益が減少しました。

紙製品事業



売上高
14,314百万円
(前年同期比2.0%減)

営業利益
35百万円
(前年同期比98百万円の改善)

付加価値の高い家庭紙の販売拡大やコスト削減、ファインペーパーの需要回復などにより、利益が改善しました。

精密機器事業



売上高

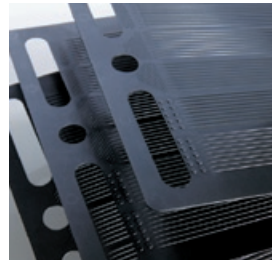
13,645百万円
(前年同期比11.8%減)

営業損失

128百万円
(前年同期比873百万円の悪化)

プラスチック成形品の受注は好調が続きましたが、太陽電池製造装置の売上減や自動車向け精密部品加工の受注減などにより減収となり、損失を余儀なくされました。

化学品事業



売上高

4,028百万円
(前年同期比11.4%増)

営業利益

165百万円
(前年同期比312百万円の改善)

断熱材、カーボン製品、高機能性樹脂素材「カルボジライト」の販売が好調に推移し、燃料電池セパレータの販売も上向いたことから、増収となり、黒字転換を果たしました。

エレクトロニクス事業



売上高

69,141百万円
(前年同期比131.4%増)

営業損失

3,500百万円
(前年同期比4,739百万円の悪化)

日本無線(株)・長野日本無線(株)の連結子会社化により増収となりましたが、第4四半期に年間売上の半分が集中するという日本無線(株)の事業特性に加え、新日本無線(株)の業績悪化により、損失を計上しました。

不動産事業



売上高

3,530百万円
(前年同期比33.1%減)

営業利益

2,518百万円
(前年同期比42.2%減)

前年同期に計上した大型分譲がなかったため分譲収入は減少しましたが、工場跡地の宅地分譲事業は順調に推移しており、土地賃貸収入やオフィスビル・商業施設の建物賃貸収入も堅調を維持しています。

特集:グローバル戦略

●ブレーキ事業の更なる飛躍 — ブレーキ摩擦材メーカー TMD Friction Group S.A.の買収 —

当社は、ブレーキ事業の摩擦材分野において、長年にわたり良好な技術提携関係を継続している世界有数の摩擦材メーカーであるルクセンブルク大公国法人TMD Friction Group S.A.の買収を決定しました。

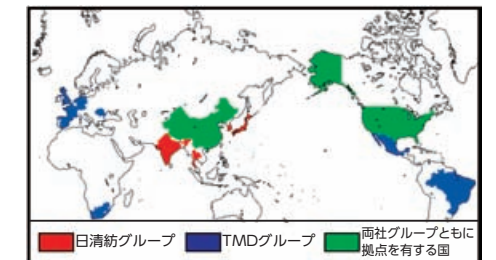
この買収により、日清紡グループのブレーキ事業は、自動車ブレーキ用摩擦材の世界シェアで約15%を超える(自社調べ)ナンバーワン・メーカーへと躍進します。

世界の有力な摩擦材市場のほとんどに事業拠点を有する唯一のメーカーとしてのグローバルリーダーシップ、両社グループでの技術補完関係、コストシナジーの追及などの強みを生かし、ブレーキ事業の更なる飛躍を図ります。

TMDグループの概要

	TMDグループ 【TMD社及びその子会社】
事業内容・取扱製品	自動車・鉄道・産業機器ブレーキ用摩擦材及び部品の製造・販売
売上高	637百万ユーロ(2010年12月期)
営業利益	35百万ユーロ(2010年12月期)
従業員数	約4,200名(2011年6月末時点)

両社グループの製造及び開発拠点



●シンガポールに現地法人設立 — アジア地域への積極的な事業展開でグローバル戦略を加速 —

本年9月、当社はアジア市場の成長を取り込み、日清紡グループのグローバル事業の深耕をさらに加速させるため、『日清紡シンガポール株式会社』(Nisshinbo Singapore Pte. Ltd.)を設立しました。

シンガポールは投資に対する税務面等の優遇政策に加え、資金調達や貿易決済での自由度が高く、成長するアジア市場を取り込むには格好の拠点となります。

日清紡シンガポールでは、まずグローバルCMS(キャッシュ・マネージメント・システム)を活用したASEAN地域子会社への財務支援、内部統制支援を行います。また、グローバル人材の育成拠点としても大事な役割を担っていく予定です。

トピックス

国内初！完全人工光型植物工場で“いちご”の量産栽培に成功

当社では、国内初となる、完全人工光型植物工場でのいちごの量産栽培に成功し、本年9月より出荷を開始しました。『あぽろベリー®』と名付けられたこのいちごは、気温や湿度、培養液等、すべての栽培環境を高度に制御・管理することが可能な当社のプラント工場（徳島県）で誕生しました。クリーンで安全、甘くておいしいいちごを、年間を通して、安定的に供給することができます。今年度は関西圏中心の販売となりますが、増産・販路選定等の全国展開に向けた事業拡大に取り組んでいます。

あぽろベリー®



完全人工光のクリーンな栽培設備

災害支援

株主優待制度を通じて「東日本大震災義援金」へ寄付

当社の株主優待は「緑の募金」への寄付または日清紡グループの紙製品ギフトセットのどちらかを選択いただける内容としておりましたが、今年度は東日本大震災の復興支援のため、寄付の内容を「東日本大震災義援金」に変更させていただきました。

今回の優待では534名という多くの株主様より寄付のお申し込みがあり、これに日清紡グループの従業員と当社からの寄付を加えて、総額200万円を日本赤十字社に寄付しました。皆様の善意に感謝いたします。

また、当社では、別途、日本赤十字社を通じて3,000万円を義援金として寄付するとともに、支援物資として日清紡グループの家庭紙製品や繊維製品、マスクなどの商品を提供しました。

タイでの水害に対する支援

当社は、タイでの大雨による洪水被災者の救済や被災地の復興に役立てていただくため、日清紡グループとして総額1,000万円の義援金を拠出することを決定しました。

日清紡グループの製造拠点は被災しておりませんが、タイ王国は、製造拠点を有するにとどまらず、グローバル経営における重要な国です。洪水の終息と被災地の一日も早い復興をお祈りします。

連結財務諸表の概要

■連結貸借対照表の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)	科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	209,692	241,676	流動負債	133,430	156,885
固定資産	229,706	238,175	固定負債	97,053	111,409
有形固定資産	149,591	149,939	負債合計	230,484	268,295
無形固定資産	5,324	5,278	純資産の部		
投資その他の資産	74,790	82,958	株主資本	179,282	178,627
資産合計	439,398	479,852	その他の包括利益累計額	683	3,753
			新株予約権	225	202
			少数株主持分	28,722	28,973
			純資産合計	208,914	211,557
			負債及び純資産合計	439,398	479,852

■連結損益計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	172,239	134,376
売上原価	143,299	107,695
売上総利益	28,940	26,681
販売費及び一般管理費	28,562	19,201
営業利益	377	7,479
営業外収益	3,470	2,647
営業外費用	1,868	691
経常利益	1,979	9,436
特別利益	467	915
特別損失	1,768	3,090
税金等調整前四半期純利益	678	7,260
法人税等	△586	2,935
少数株主損益調整前四半期純利益	1,264	4,324
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,411	447
四半期純利益	2,676	3,876

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,107	5,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,399	△2,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,919	198
現金及び現金同等物に係る換算差額	467	△873
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,743	2,371
現金及び現金同等物の期首残高	45,563	17,768
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	615	5
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,436	20,145

■中間配当について

当期の中間配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 中間配当金 1株につき金7円50銭
2. 中間配当の効力発生日ならびに支払開始日 2011年12月5日(月)

日清紡グループのネットワーク[主要拠点](2011年9月30日現在)

日清紡ホールディングス(株) [本社(東京)]

繊維事業

日清紡テキスタイル(株) [本社(東京都)、大阪支社(大阪府)、藤枝事業所(静岡県)、美合事業所(愛知県)、徳島事業所(徳島県)]

CHOYA(株)(東京都)
日清デニム(株)(徳島県)
(株)ナイガイシャツ(大阪府)
NISSHINBO DO BRASIL INDUSTRIA TEXTIL LTDA.(ブラジル)
PT. NIKAWA TEXTILE INDUSTRY(インドネシア)
PT. NISSHINBO INDONESIA(インドネシア)
日清紡績(上海)有限公司(中国)

ブレーキ事業

日清紡ブレーキ(株) [本社(東京都)、館林事業所(群馬県)、豊田事業所(愛知県)]
NISSHINBO AUTOMOTIVE MANUFACTURING INC.(アメリカ)
NISSHINBO SOMBOON AUTOMOTIVE CO., LTD.(タイ)
SAERON AUTOMOTIVE CORPORATION(韓国)
賽龍北京汽車部件有限公司(中国)

紙製品事業

日清紡ペーパープロダクツ(株) [本社(東京都)、島田事業所、富士事業所(静岡県)、徳島事業所(徳島県)]

東海製紙工業(株)(静岡県)
日清紡ボスタルケミカル(株)(東京都)
大和紙工(株)(東京都)

精密機器事業

日清紡メカトロニクス(株) [本社(東京都)、美合工機事業所(愛知県)、浜北精機事業所(静岡県)]

日清紡精機広島(株)(広島県)
日清紡アルプステック(株)(静岡県)
NISSHINBO MECHATRONICS (THAILAND) LTD.(タイ)
日清紡精密機器(上海)有限公司(中国)

化学品事業

日清紡ケミカル(株) [本社(東京都)、徳島事業所(徳島県)、旭事業所、千葉事業所、中央研究所(千葉県)]

エレクトロニクス事業

日本無線(株) [本社事務所、三鷹製作所(東京都)]
新日本無線(株) [本社(東京都)、川越製作所(埼玉県)]
長野日本無線(株)(長野県)
上田日本無線(株)(長野県)

不動産・その他事業

日清紡都市開発(株)(東京都)
ニッシン・トーア(株)(東京都)
岩尾(株)(大阪府)
NISSHINBO EUROPE B.V.(オランダ)

会社の概要 (2011年9月30日現在)

会社概要

会社名 日清紡ホールディングス株式会社
英文社名 Nisshinbo Holdings Inc.
設立 1907(明治40)年2月5日
資本金 27,587,976,204円
従業員数 237名(単体)、18,156名(連結)
本社 〒103-8650
東京都中央区日本橋人形町2-31-11

取締役・執行役員

取締役会長	岩下 俊士	取締役執行役員	萩原 伸幸
取締役社長*1	鷓澤 静	取締役執行役員	西原 孝治
取締役副社長*1	恩田 義人	取締役*2	秋山 智史
取締役副社長	諏訪 頼久	取締役*2	花輪 俊哉
取締役常務執行役員	五十部 雅昭	取締役*2	加藤 紘二
取締役常務執行役員	河田 正也	執行役員	木島 利裕
取締役執行役員	村上 雅洋	執行役員	奥川 隆祥
取締役執行役員	中野 裕嗣	執行役員	馬場 一訓

*1は代表取締役 *2は社外取締役

監査役

常勤監査役	井出 義男	監査役*	川上 洋
常勤監査役	佐塚 政男	監査役*	富田 俊彦

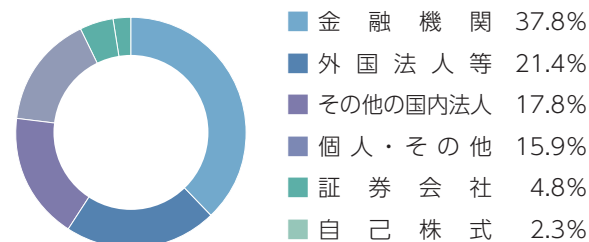
*は社外監査役

株式の概況 (2011年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数 371,755,000株
発行済株式総数 178,798,939株
株主数 13,699名

所有者別株式分布状況



Webサイトのご案内



当社ホームページでは、当社のイメージキャラクターである佐倉絵麻さんのスペシャルサイトをはじめ、IR情報も充実させ、豊富なインフォメーションを掲載しております。どうぞご利用ください。

<http://www.nisshinbo.co.jp/>